

第39回定時株主総会

2022年6月24日

JFE システムズ 株式会社

報告事項

- 1.第39期（2021年4月1日から2022年3月31日まで）事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
- 2.第39期（2021年4月1日から2022年3月31日まで）計算書類の内容報告の件

目的事項

決議事項

- 第1号議案 剰余金処分の件
- 第2号議案 定款一部変更の件
- 第3号議案 取締役6名選任の件
- 第4号議案 補欠監査役1名選任の件

- **議決権を有する株主様の総数**
 - **2, 515名**
- **議決権総数**
 - **156, 983個**

会計監査人の監査報告
(38ページ～41ページをご覧ください)

監査役会の監査報告 (42ページ～43ページをご覧ください)

会計監査人および監査役会の
監査結果の報告を
終わります。

➤ 事業報告

➤ 連結計算書類

➤ 計算書類

2021年度（2021年4月～2022年3月）

事業の経過および成果

- ◆ 我が国経済は新型コロナウイルス感染症の感染再拡大に加え、ウクライナ情勢や金融資本市場の変動など、先行き不透明な状況
- ◆ 情報サービス業界においては、テレワーク環境の設備などの需要増があり、企業の情報システム投資も堅調に推移

◆ 以下の主要課題を推進

- ・ J F E スチール製鉄所システムリフレッシュへの対応
- ・ ソリューション事業の拡大
- ・ 基盤サービス事業の拡大

◆ J F E スチール本社基幹システムのオープン環境への完全移行

◆ 5年連続 健康経営優良法人認定

◆ 次期中期経営計画においても、技術力・商品力・人材力を軸とし、さらなる成長を目指す

2021年度 業績（連結：前期比）

- 昨年のコロナウイルス感染拡大の影響から大幅に回復・伸長し、2年ぶりに過去最高の売上高・利益を計上。
- 売上増に伴う開発生産性向上等もあり利益率が向上。

単位：百万円

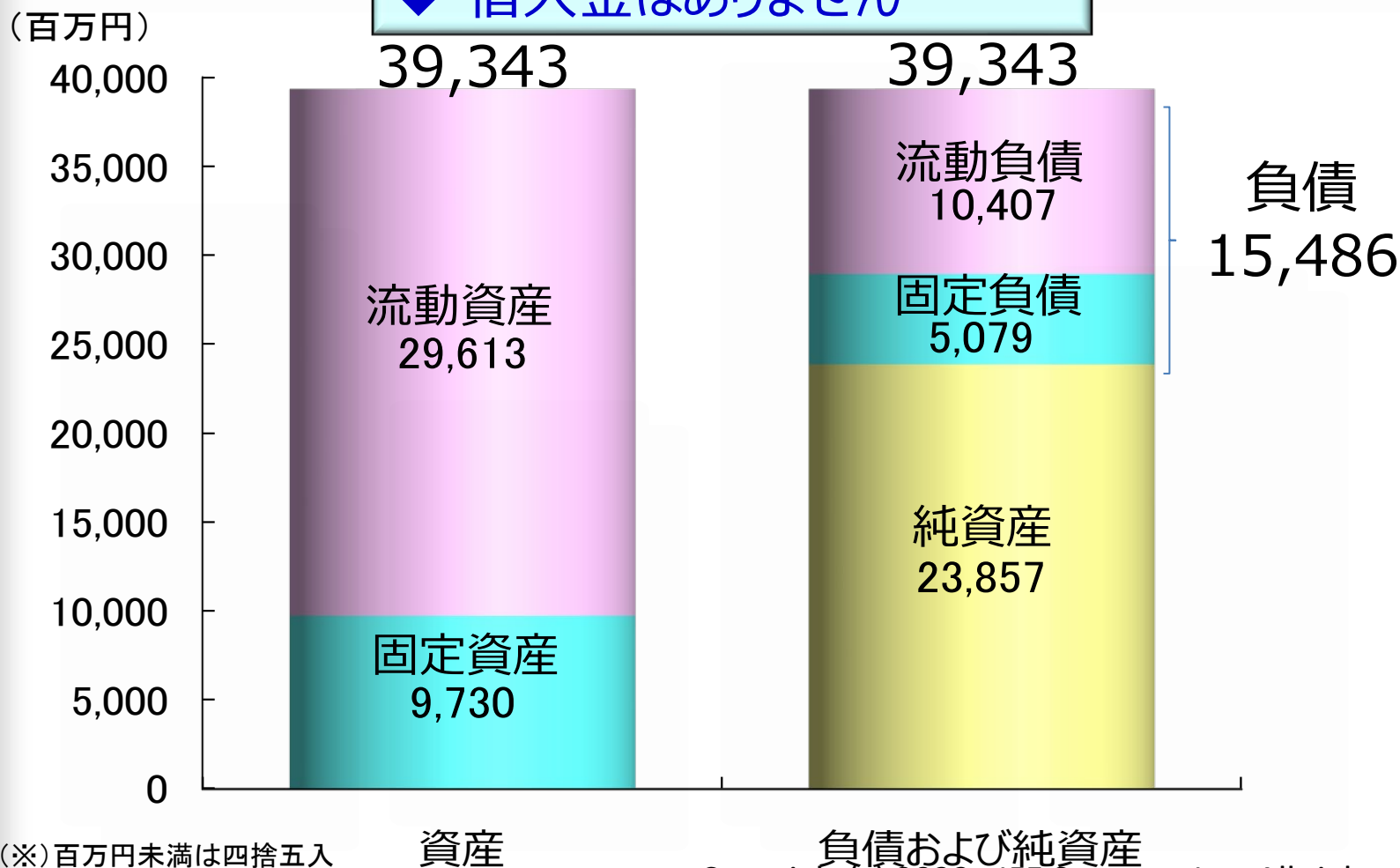
	2020年度 実績	2021年度 実績	増 減	
			金 額	率
売上高	46,468	50,395	+ 3,927	+ 8.5%
営業利益	4,666	5,609	+ 943	+ 20.2%
経常利益	4,698	5,644	+ 946	+ 20.1%
（経常利益率）	10.1%	11.2%	+ 1.2ポイント	
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,086	3,724	+ 638	+ 20.7%

2021年度末（2022年3月末） 連結貸借対照表

（32ページをご覧ください）

2021年度末（22年3月末） 連結貸借対照表の概要

- ◆ 自己資本比率 58.7%
- ◆ 借入金はありません



2021年度（2022年3月期） 連結損益計算書

（33ページをご覧ください）

2021年度 業績（連結：前期比）

- 昨年のコロナウイルス感染拡大の影響から大幅に回復・伸長し、2年ぶりに過去最高の売上高・利益を計上。
- 売上増に伴う開発生産性向上等もあり利益率が向上。

単位：百万円

	2020年度 実績	2021年度 実績	増 減	
			金 額	率
売上高	46,468	50,395	+ 3,927	+ 8.5%
営業利益	4,666	5,609	+ 943	+ 20.2%
経常利益	4,698	5,644	+ 946	+ 20.1%
（経常利益率）	10.1%	11.2%	+ 1.2ポイント	
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,086	3,724	+ 638	+ 20.7%

2021年度計算書類

(35ページから37ページに記載のとおりです)

2022年度業績見通し

2022年度 業績見通し（連結：前期比）

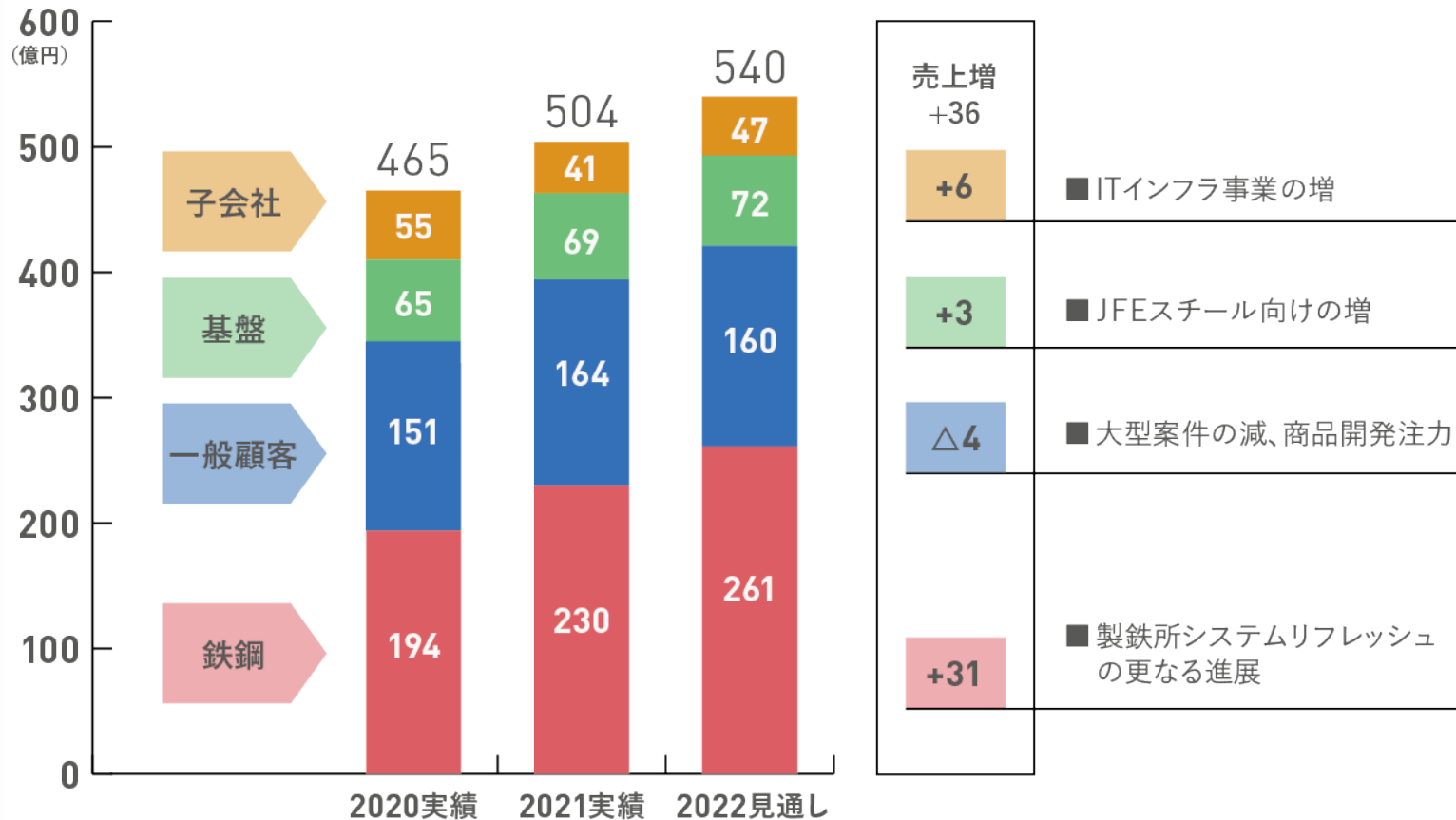
- 2021年度に引き続き、大幅な売上高増を見込む。
- 利益率については、IT人材を確保するための処遇改善費用および将来に向けた研究開発費用増などの影響で若干の低下を見込む。

単位:百万円

	2021年度 実績	2022年度 見通し	増 減	
			金 額	率
売上高	50,395	54,000	+3,605	+7.2%
営業利益	5,609	5,670	+61	+1.1%
経常利益	5,644	5,700	+56	+1.0%
(経常利益率)	11.2%	10.6%	△0.6ポイント	
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,724	3,740	+16	+0.4%

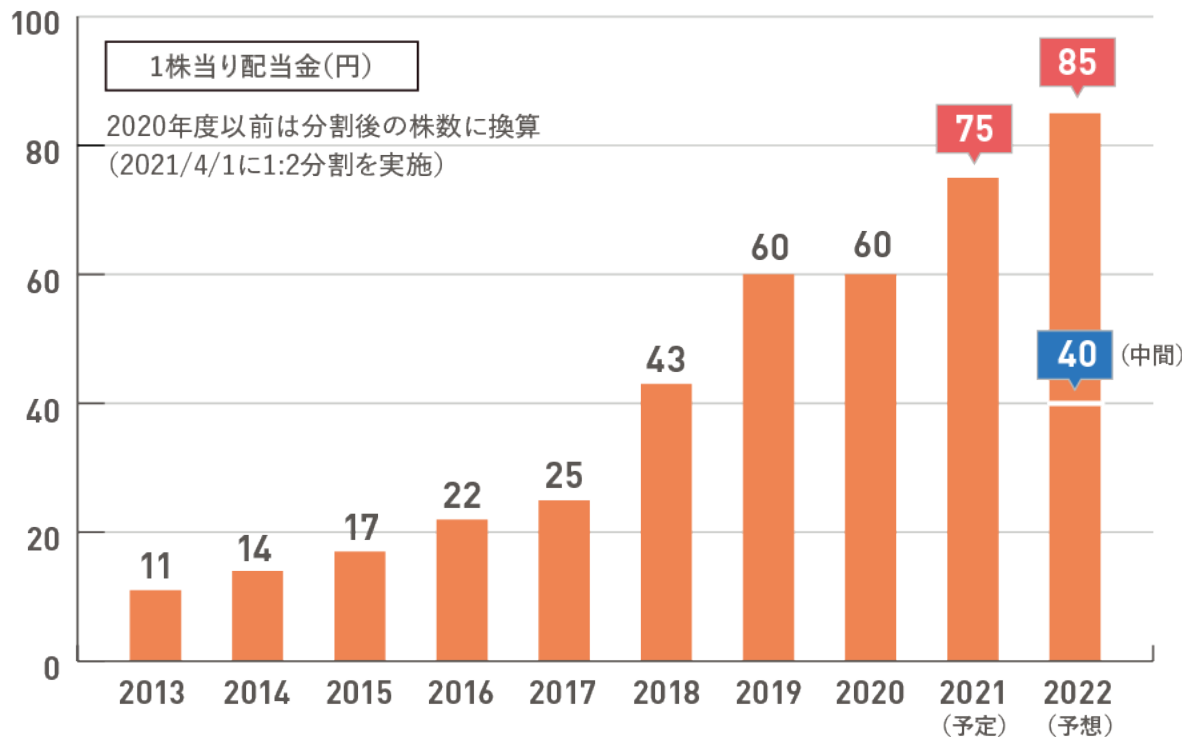
2022年度 事業別売上高見通し（連結）

■製鉄所リフレッシュの進展に伴い、引き続き鉄鋼部門の売上が伸長予定。



株主還元

- 2021年度配当は過去最高額である75円/株を予定。
- 2022年度は、新しい中期経営計画（後述）における株主還元強化の観点から、85円/株・年（配当性向35%目途）とするとともに、中間配当40円/株を予想。



2022~2024 中期経営計画

2022-2024 中期経営計画

Accelerate innovation

JFE-SIが加速する



JFE システムズ 株式会社



JFE-SIの目指す姿

- 商品力と人材力の強化、革新を通じて、個性的で特徴あるITベンダーに
- JFEグループ(7年連続DX銘柄選定)と連携したDX事業の強化
- サステナビリティ活動を通じて社会課題に貢献すると同時に、幅広いステークホルダーとの共存を追求
持続的な事業の成長を目指す

サステナビリティ活動を意識した経営の追求

商品力/技術力の強化

- ERP+独自のテンプレート、経営管理ソリューション
- 業界トップのプロダクト商品(食品、電子帳票)
- JFEグループ向けの大規模開発・
基盤構築実績(DX含む)



人材力の強化

- 多様な業界向けの豊富なシステム構築
- 数々の商品開発実績
- SoE人材、DX人材の拡充

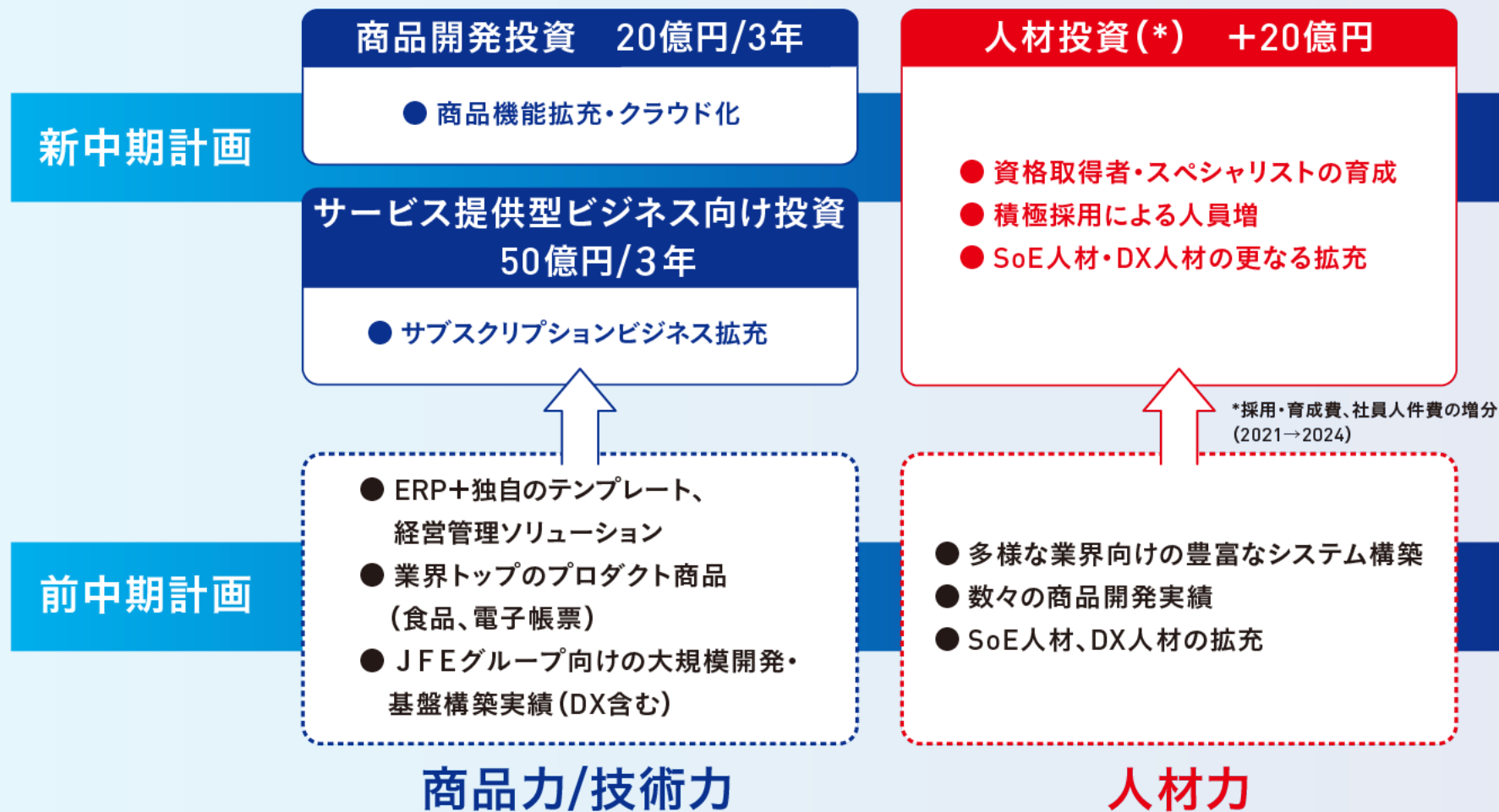


Accelerate innovation による企業価値向上

- 社会・ステークホルダーとの共存関係を強く意識した企業経営を追求
- 商品開発/人材開発/M&A等の投資拡大、DX事業強化による事業変革の加速

商品力/技術力 × 人材力の更なる強化に向けて

“商品力/技術力×人材力”の強化に更に磨きをかけるべく、新しい中期経営計画では、これまでの実績を土台に、積極的な投資と共に諸施策を推進してまいります。



中期計画概要 ① 事業別戦略

各事業で当社の強みを活かし、顧客満足を高め、更なるビジネスチャンスを捕捉します。



鉄鋼

製鉄所システムリフレッシュ本格化 — 国内でも最大規模の大型マイグレーション案件
— 膨大なノウハウを集積すると同時に人材育成も推進
基幹システムの開発運用に加え、DX案件にも積極的に対応



ソリューション
製品

ERP～周辺ソリューション～DX等幅広い提案ができるベンダーに
食品、電子帳票では、NO.1プラットフォーマーの立場を維持強化
— 商品開発による機能拡充、クラウド対応、新機能追加により、商品力・提案力をさらに強化



ビジネス
システム

先進的な顧客の取り組みに呼应し、新技術・ノウハウを蓄積・活用(ローコード開発)
SoRビジネスからSoEビジネスへの転換を図る



基盤

JFEグループ向けの実績をもとにビジネス拡大(JFEグループ外のお客様の開拓)
クラウド、セキュリティ事業の強化、拡大



DX

JFEグループのDX実績をもとにしたDX新規ビジネスの拡大
(オフィスソリューション、製造現場ソリューション、プラットフォーム構築サポート)

JFEシステムズの中期計画におけるDX事業

3つのD(デジタル)で実現する
お客様のX(トランスフォーメーション)



商品力/技術力 × 人材力
Good Relation, Good Solution.

+

JFEグループ(7年連続DX銘柄選定)
で蓄積した製造業DXのノウハウ

中期計画概要 ② 全社横断施策

積極的な投資・株主還元により、企業価値の増大を目指します。
また、当社の根幹となる人材・サステナビリティ施策にも注力します。



投資

将来の成長に向けて、積極的な投資を推進する。

- ① 商品の機能拡充・新商品開発 (20億円)
- ② サービス提供型ビジネス展開に向けた投資 (50億円)
- ③ 既存事業の強化と事業領域の拡大を狙ったM&A
- ④ 研究開発投資

⇒ 投資規模は、3か年で年間経常利益の3年分 (150億円規模) を想定



株式 施策

- ① 配当性向の引き上げ (現行30%→35%程度)
- ② 中間配当の実施



サステナ ビリティ

重要課題 (マテリアリティ) への取り組みを通じて、

- ① 持続的な成長と企業価値の向上
 - ② 持続可能な社会の実現
- に貢献



人材 育成

SoE人材、DX人材等、高度な技術力を有する人材育成と拡充
採用体制の充実など採用力強化を推進し社員数の増加を目指す
社員の報酬水準の継続的な向上



人材投資
+20億円

中期経営計画 財務目標

投資の拡大と並行しながら、更なる増収増益を目指す。

	2021年度	2022年度 計画	2024年度 目標
連結売上高	504億円	540億円	570億円
連結経常利益	56.4億円	57.0億円	66.0億円
ROS	11.2%	10.6%	11.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	37.2億円	37.4億円	43.7億円
ROE	17.1%	15%程度の水準を維持	
配当(*)	75円/株	85円/株	配当性向35%程度
配当性向	31.6%	35.7%	



以上をもちまして
報告事項の説明を終わります。

決議事項

第1号議案 剰余金処分の件

第2号議案 定款一部変更の件

第3号議案 取締役 6 名選任の件

第4号議案 補欠監査役 1 名選任の件

第1号議案 剰余金処分の件

期末配当に関する事項

当社の利益配分の基本方針

中長期的な事業計画のもと、再投資のための内部留保と安定配当を念頭に、配当性向30%を目安に財政状態、利益水準を総合的に勘案して決定

当社普通株式 1株につき **金 75円**

6ページを
ご覧下さい

第2号議案 定款一部変更の件

- (1) 「会社法の一部を改正する法律」に規定する改正規定が2022年9月1日に施行されますので、株主総会資料の電子提供制度にそなえるため、定款を変更いたします。
- (2) 経営環境の変化に機動的かつ柔軟に対応するため、経営責任の明確化と株主の皆様の信任を毎年得ることを通し、コーポレート・ガバナンス体制を一層強化することを目的として、取締役の任期を2年から1年に短縮するものであります。

7-8ページを
ご覧下さい

第3号議案 取締役6名選任の件

〈取締役候補者〉

大木 哲夫（おおき てつお）
國安 誠（くにやす まこと）
中村 元（なかむら はじめ）
下田 純（しもだじゅん）
矢野 正吾（やの せいご）
竹田 年朗（たけだ としろう）

9-13ページを
ご覧下さい

第4号議案 補欠監査役1名選任の件

＜補欠監査役候補者＞

永岡 秀一(ながおか しゅういち)

14ページを
ご覧下さい

決議事項

- | | | |
|-------|-------------|-----------|
| 第1号議案 | 剰余金処分の件 | (6ページ) |
| 第2号議案 | 定款一部変更の件 | (7-8ページ) |
| 第3号議案 | 取締役6名選任の件 | (9-13ページ) |
| 第4号議案 | 補欠監査役1名選任の件 | (14ページ) |

閉 会

**本日はご多用中のところ
ご出席いただきまして
誠にありがとうございました。**

**※係員の誘導に従っていただきます
ようお願いいたします。**

JFE システムズ 株式会社